

# 令和6年度 地域福祉コーディネーター養成研修

## 開催要綱

### 1 趣旨

今日、地域生活課題が複雑化・複合化するなか、地域住民をはじめ関係機関・団体等が連携して、地域生活課題の解決に取り組み、相互に助け合う「地域共生社会」の実現が求められています。そのためには、地域の中で支援を必要とする人を発見し、必要な支援へつなぐことや、新たな仕組みづくり等に取り組む人材が不可欠です。

また、こうした役割を果たす人材は、包括的支援体制の構築に向けても中心的な役割を担うことが期待されます。

そこで本研修は、様々な関係機関・団体等と調整を行いながら、地域の生活・福祉課題の解決に向けてリーダーシップを発揮する役割を担う、「地域福祉コーディネーター」を養成し、本県地域福祉の更なる推進を図ることを目的に開催します。

### ○地域福祉コーディネーターとは？

「様々な福祉施策やサービス、また福祉活動を行っているNPO、ボランティア等の情報など、地域の福祉課題を解決するために利用できる多くの手段・情報等に精通した人材（引用：「宮崎県地域福祉支援計画：平成28年3月」）」であり、様々な調整を行いながら、地域の福祉課題の解決に向けてリーダーシップを発揮することが期待される人物です。

### 2 主催

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

### 3 日時及び会場

	日 時	会 場
1日目	令和6年7月19日(金) 10:00～15:00	宮崎県福祉総合センター 人材研修館 4階 大研修室
2日目	令和6年8月27日(火) 10:00～17:00	宮崎県福祉総合センター 人材研修館 4階 大研修室
3日目	令和7年2月17日(月) 10:00～15:30	宮崎県福祉総合センター 人材研修館 4階 大研修室

●宮崎県福祉総合センター：〒880-8515 宮崎市原町2-22 TEL:0985-25-0539

### 4 参加対象者

社協職員、社会福祉施設職員、NPO・ボランティア団体関係者、地域福祉の推進に意欲的に携わっている方で、3日間全てのプログラムに参加できる方

5 テキスト

本研修では、『みんなで目指そう 地域づくりとソーシャルワークの展開』（全社協出版部）定価1,210円（税込）を使用します。各自、事前に購入し研修時に御持参ください。  
**福祉の本出版目録** <https://www.fukushinohon.gr.jp/book/b10001783.html>

6 定員

50名程度

7 受講料

無 料

8 プログラム

日 程	時 間	内 容	
7/19(金)	9:30~10:00	受付	
	10:00~10:10	開会挨拶／オリエンテーション(10分)	
	10:10~10:30	基調説明(20分) 講師：宮崎県福祉保健部 ※地域福祉支援計画等から見てくる本県の地域福祉の現状と課題及び地域福祉コーディネーターに期待される役割を学びます。	
	10:30~11:05	講義①(35分) 「地域福祉コーディネーター活動がもたらす効果」 講師：九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏 ※過去の事例から地域福祉コーディネーター活動がもたらす効果等について学びます。	
	11:05~11:15	休憩(10分)	
	11:15~12:00	活動報告(45分) 報告者：エデンの園 法人事務局リーダー 光森 勇人 氏 コーディネーター：九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏 ※先輩コーディネーターの生の声とおして活動への具体的なイメージを獲得します。	
	12:00~13:00 13:00~15:00 ※随時休憩	昼食・休憩(60分) 講義②&グループワーク(120分) 「地域づくりとソーシャルワーク」 講師：九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏 ※地域共生社会の理念、包括的支援体制が必要とされる背景、様々な機関との連携・協働について講義とグループワークをとおして学びます。	
7月下旬~8月下旬	【復習動画視聴】 講義①「地域生活課題の捉え方」(30分) 講義②「地域共生社会とは何か」(30分) 講義③「なぜソーシャルワークが求められているのか」(15分) 講義④「ソーシャルワークの基礎」(15分) 講義⑤「ソーシャルワークの主要な機能」(15分)		
8/27(火)	9:30~10:00	受付	
	10:00~10:05	オリエンテーション(5分)	
	10:05~10:35	演習①(30分) 「地域共生社会の理念と地域づくりを担う実践者への期待」【事前学習の振り返り】	<<演習講師>> 宮崎市社会福祉協議会 清武支所 主査 大野 雅弘 氏  綾町社会福祉協議会 地域福祉課 課長 横山 知典 氏  <<アドバイザー>> 九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏
	10:35~12:05	演習②(90分) 「本人・家族の困りごとや生きづらさを理解する」【ニーズの発見とアセスメント】 ※制度の枠組みにとらわれず、生活課題を包括的に把握する力を学びます。	
	12:05~12:55	昼食・休憩(50分)	
	12:55~14:25 ※随時休憩	演習③(90分) 「本人・家族を支えるネットワークづくり」【地域住民や関係機関との連携】 ※社会資源についての理解と本人・家族を支えるネットワークづくりの必要性について学びます。	
	14:25~15:55 ※随時休憩	演習④(90分) 「本人・家族を支える地域づくり」【協働による社会資源の開発】 ※社会資源開発や地域づくりの仕組みについて理解するとともに、住民主体の地域づくりの重要性を理解し、ソーシャルアクションについて考えます。	
	15:55~16:55 ※随時休憩	演習⑤(60分) 「研修のリフレクションとアクションプランの作成」 ※グループでの意見交換を通じて、今後の取り組みについて考えます。	
16:55~17:00	事務連絡(5分)		

3日目開催1～2週間前		【事前課題】 「研修受講後の実践リフレクション」作成
2/17(月)	9:30～10:00	受付
	10:00～10:10	オリエンテーション(10分)
	10:10～11:15	演習⑥(65分) 「研修受講後の実践のリフレクション」 講師:調整中 ※研修で得た学びを活かし、アクションプランをどのように実践に移すことができたかを振り返ります。 また、実践の中で新たに気づいたことや課題等を共有し、さらなる専門性の向上と実践の発展に繋がります。
	11:15～11:25	休憩(10分)
	11:25～12:00	実践報告(35分) 報告者:調整中 コーディネーター:九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏 ※参加者とともに地域福祉コーディネーターの実践を振り返り、これからの展望を共有します。
	12:00～13:00	昼食・休憩(60分)
	13:00～15:00	演習⑦(120分) 「地域福祉コーディネーターとしてのプラン作成」 講師:九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏 ※これまでの学び、気付き、取組、出会いを振り返りながら、地域の福祉課題解決に向けた取組の企画立案等を行います。
	※随時休憩	
	15:00～15:15	まとめ(15分) 九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏
15:15～15:30	事務連絡(15分)	

※主催者の都合により、内容が変更になる場合があります。

## 9 参加申込方法

(1) 宮崎県社会福祉協議会のホームページにある **各種申込及びアンケート** または下記申込フォームより、**6月21日(金)まで**にお申込みください。

申込フォーム << <https://www.mkensha.or.jp/application/content.html> >>

(2) 定員を超える場合は、受講できないこともありますので御了承ください。

なお、受講決定等のお知らせはいたしませんので、事務局から連絡がない場合は受講決定と御判断ください。

## 10 その他

(1) 昼食については、各自で御準備ください。

なお、御持参された弁当等を会場内でおとりいただくことは問題ありません。

(2) 市町村名、事業所名、氏名、役職を記載した参加者名簿を作成し、参加者に配布します。

また、本研修の受講修了者につきましては、連絡名簿へ登録を行い、市町村行政、市町村社会福祉協議会等から要請があった際は名簿及び連絡先を提供します。

その他、参加申込書に記載された個人情報につきましては、本研修の運営のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

### 《事務局》

宮崎県社会福祉協議会 地域・ボランティア課（担当：筒井）  
〒880-8515 宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター本館 3階  
TEL：0985-25-0539 FAX：0985-31-6575



県社協マスコットキャラ  
みふくちゃん